

# 平成29年度 君津中地区 地域ケア会議 報告書



平成29年10月4日（水）、12月6日（水）君津市保健福祉センターにて、  
「地域で活動する団体の連携」「地域の人々がどのようなことに困っているのか」について意見交換を行いました。

## 内容

平成29年10月に実施した、1回目の地域ケア会議では、「認知症の方への対応で困っている内容について」と、「地域で活動する団体の連携について」というテーマで話し合いを行いました。認知症への理解は、サポーター養成講座の受講者も増え、また「お茶っこクラブ」は公的サービスを受けていない人の受け皿になっている。今後は家族会などの情報提供や、関係機関へのつなぎや連携が必要であり、団体の連携については、困った時の仕組みをどう作っていくか、ネットワークの図式化が必要ではないかという意見がでました。また、君津中地区での大きな目標として、「高齢者にとって、住み慣れた地域でいきがいを持って、困ったことを口に出して言えるような環境にしていく」等に、具体的な検討をしていくのはどうかとの提案がありました。

2回目の地域ケア会議では、「地域で活動する団体の連携」「地域の人々がどのような事に困っているのか」について、各団体の参加者が、日ごろの支援で困っていることも含めて話し合いました。

## ご意見

### ○地域で活動する団体の連携について

- 君津中地区ケア会議出席者関係図について確認  
関係図を見て、高齢者を中心に様々な団体による支援の輪を築くことがイメージできた。君津中地区民生委員協議会にて、市民から相談があった際のルートを協議した。対応困難ケースについては担当地域包括支援センターに繋ぐが、一般ケースについては社会福祉協議会を経由することとなった。
- 連絡先の掲載については、個人情報保護や、役員が交代した際の周知の問題などから、慎重な検討が必要。

## ご意見

### ○地域の人々がどのようなことに困っているのか

- ニーズの把握については、市や社会福祉協議会が実施した住民アンケートを活用すればよいのではないかと。
- 様々な問題を抱えているにもかかわらず、他人に知られたくないと考えている高齢者も多い。家族も同様であり、認知症である親の病状を周囲に知られたくないケースも多い。民生委員等に引き継ぐことが難しい場合もある。積極的に関わることを拒否するケースについても、雨戸の開閉状況などからサインを感じ取ることが大切。関心を持って見守ることが大切である。

## まとめ

- 「君津中地区地域ケア会議出席者関係図」を作ることで、お互いの役割の違いを知り、今後も共有の問題意識を持ち連携することができる。関係図のバージョンアップや活用方法は、今後の課題。
- 地域の人々がどのようなことに困っているか、既存のアンケートなどから困りごとの内容を知り、支援が充足されているのか、実際にどのような支援ができるのか今後検討する。次年度、地域ケア会議のあり方も見直していく。

ご意見を参考にさせていただき、平成30年度の地域ケア会議を実施していきたいと思っております。



君津市地域包括支援室  
Tel 0439-56-1732  
君津市久保 2-13-1  
君津市 保健福祉部  
高齢者支援課